



「ふるさと研究ニュース」は、市民のみなさんに、所沢のことを知っていただける機会や情報をお届けする情報紙です。所沢をもっと知りたい方、ぜひご活用ください。



第16回所沢市伝統芸能発表会



伝統芸能発表会は隔年で開催しており、重松流祭ばやし、岩崎簞獅子舞の実演が一度に見られる数少ない機会です。このふたつは、昭和44年に所沢市無形民俗文化財に指定され、保存会の皆さんなどによって受け継がれています。

●重松流祭ばやし…所沢で生まれた古谷重松が編み出した囃子の流派で、特徴は、テンポの良さと屋台囃子の小太鼓2つ(地と絡み)の掛け合いにあるといわれています。

●岩崎簞獅子舞…岩崎村の地頭(旗本)宇佐美助右衛門長元が、大坂冬の陣の帰途、京都で三頭の獅子頭を買い求め、獅子舞の師匠を伴い凱旋し、村の若者に稽古をさせたのが始まりといわれます。

日 時：令和8年2月15日(日) 午後0時45分～3時35分(開場予定：午後0時15分)

場 所：所沢市民文化センター ミューズ 中ホール

出 演：所沢小学校お囃子クラブ

重松流祭囃子保存会(安松囃子連・上新井囃子連・

宮本町囃子連・金山町囃子連・青年部)

岩崎獅子舞保存会

※申し込み不要、入場無料です。



市民学芸員養成講座を開催します!!

全日程 参加可能な方

市が進める「ふるさと研究活動」にご協力いただくボランティア「市民学芸員」の養成講座を開催します。資料の調査や展示などの活動に参加してみたいという方は是非お申し込みください。

- ① 2月2日(月)「総論 博物館の魅力」
講師：半田昌之氏
(公益財団法人 日本博物館協会専務理事)
- ② 2月10日(火)「郷土の歌人・三ヶ島葎子を知る」
講師：さいとうなおこ氏(歌人)
- ③ 2月16日(月)「所沢市の自然を知る」
講師：教育センター職員
- ④ 2月25日(水)「地域博物館に学ぶ～飯能市立博物館～」
講師：飯能市立博物館職員
- ⑤ 3月2日(月)「資料取り扱い講習～民具・古文書の扱い方～、市民学芸員活動の実際」
講師：文化財保護課職員・現在活動中の市民学芸員

時 間：いずれも午後1時30分～3時30分

会 場：①③⑤所沢市生涯学習推進センター、
②三ヶ島まちづくりセンター、
④飯能市立博物館
※②④は現地集合現地解散となります。
(交通費は自己負担)

定 員：先着20名(全5回参加可能な方)

申込先：文化財保護課 2991-0308(土日祝休)

1月13日(火)午前9時から電話で受付



詳しくは
こちらから
見てね →



市のホームページ

幕末・明治の彫工の記録から

＜ふるさと研究市民トピック No. 37＞

ところざわまつりで繰り出される山車のうち、元町本町、有楽町、御幸町の山車は所沢市の指定文化財です。いずれも人形が乗る形式である点が共通しており、山車自体も明治時代の建造と推定され、施されている彫刻にも各々特徴があります。

なかでも元町本町の山車の彫刻は入間川(現狭山市)の甲田了作が製作したと伝えられます。了作は、幕末から明治に活躍した宮大工であり彫工でした。所沢をはじめ狭山丘陵周辺地域で社寺建築や山車などの彫刻を多く手掛けたことで知られています。

この甲田了作について、近年、東京都瑞穂町郷土資料館の調査により、子孫宅に貴重な資料が残されていることが判明しました。完成品のもとになる下絵や図面類のほか、依頼者や製作費用などが記された帳面も含まれています。これらの資料は調査途中で未だ公表されていませんが、今回所沢市への情報提供によりいくつかのことがわかりました。

了作は文化 13(1816)年頃の生まれと推定され、一連の資料から、具体的にどのような仕事をしたかがわかってきました。とくに、所沢市域の山車の彫物に注目して、明治8(1875)年から同14(1881)年までの仕事を見ると、①「所沢宿中町」の山車、②「下新井村」の山車、③「所沢宿」の山車の製作に関わったことが判明します。①は現在の何処の町会のものか不明です。②は新井町の山車、③は元町本町と思われます。①と③は所沢の町場の山車ですが、製作費は①が大島屋佐吉、③が高橋種吉と、いずれも商人が負担しています。当時の町場の祭礼行事が商人



金山町の山車側面拡大



瑞穂町殿ヶ谷の山車彫物下絵（甲田家文書、瑞穂町郷土資料館提供）

によって支えられていたことがうかがえます。

ところで、瑞穂町の調査では、同町殿ヶ谷の山車の下絵(上図)に描かれた唐破風部分の龍が金山町の山車の両側面の龍の彫り物(山車写真)に酷似していることがわかりました。金山町の山車は昭和55(1980)年に地元の本橋吉蔵によって製作されたものですが、彫刻の一部は明治初期に製作された山車の彫物を使用したと伝えられています。その他の資料からも、金山町の彫物は甲田了作の製作であることが明らかで、さらなる調査に期待がかかります。

※甲田家の資料は未公開です。

民俗資料館へ 行ってみませんか！

＜柳瀬民俗資料館＞

※旧柳瀬村関係の資料や、村役場の復元模型、オート三輪車など、珍しい資料があります。

所在地 所沢市亀ヶ谷 279-3

T E L 04-2944-9696（開館日のみ）

開館日 第1・3金曜日、第2土曜日、第4日曜日

開館時間 午前9時から午後4時30分



➡ 詳細は所沢市ホームページをご参照ください。

